検査Ⅴ　国　語

【一】次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

（中野剛志『奇跡の社会科学』による）

問一　二重傍線部①～⑤について、漢字はその読みを、カタカナはその漢字を答えなさい。

問二　傍線部A『回り道』のアプローチ」、傍線部B『直接的』なアプローチ」とあるが、ケイが挙げている次のア～ウの例は、どちらのアプローチに該当するか、『回り道』のアプローチ」に該当する場合はA、『直接的』なアプローチ」に該当する場合はBとして答えなさい。

ア　アメリカの国立公園管理局は、山火事による森林破壊を防ぐという目標を達成するために、どんなに小さな火災も消火してきた。

イ　アメリカの国立公園管理局は、山火事による森林破壊を防ぐために、目標を「山火事の撲滅」から「山火事のコントロール」へと変え、自然発火による火災は放置するよう、ガイドラインを変更した。

ウ　アメリカの国立公園管理局は、山火事による森林破壊を防ぐという目標を達成するために、どの火災を消火し、どの火災を放置するかの判断をベテランの林務官に委ねるようになった。

問三　傍線部C「都市やコミュニティの魅力は、計画という『直接的』なアプローチでできるものではなく」とあるが、その理由を次のようにまとめた。空欄に当てはまる最も適切な語を指定の文字数で本文中より抜き出し、答えなさい。

都市やコミュニティの魅力は、長い時間をかけて、［a（五字）］の中から生まれた［b（二字）］さの中にこそあるもので、人間の理性に限界がある以上、その魅力は、［c（六字）］からは生み出し得るものではないから。

問四　傍線部D「ラディカリズムのアプローチの対極にあるものです」とあるが、どういうことか。九〇字以上一〇〇字以内で説明しなさい。

問五　傍線部E「インクリメンタリズムの方が、スピーディーかつ根本的に、問題を解決できる」とあるが、それはなぜか、その理由を一〇〇字以内で説明しなさい。

問六　傍線部F「それ」の指し示す内容を、九〇字以上一一〇字以内で説明しなさい。

問七　この文章の表現に関する説明として適当なものを、次のア～オの中からすべて選び、記号で答えなさい。

ア　この文章は、各種用語について説明し、明確に定義づけることによって、読者の内容理解を助けるものになっている。

イ　この文章は、読者に問いかける形で話題を提示した後で説明することによって、読者の理解を深めるものになっている。

ウ　この文章は、思想が生起した背景や原因などを整理して書き表すことによって、筆者が取り上げた思想への理解を深めるものになっている。

エ　この文章は、個別の具体例を複数列挙し、共通点を見出し一般化することによって、筆者の考えがより明確に伝わりやすいものになっている。

オ　この文章は、筆者の意見や根拠に対する反論を想定しながら論を展開することによって、読者の共感をより得られるものになっている。

【二】次の文章は、『住吉物語』の一節である。姫君は、継母である北の方の度重なる悪計に耐えかね、父中納言の家を出て、乳母の子である侍従とともに都を離れ、住吉に逃れた。次の場面は、北の方によって姫君との縁談を妨げられた少将の姿を描く場面から始まる。これを読んで、各問いに答えなさい。

さても、少将はそののち、(Ⅰ)精進をのみしたまひて、聞こえおはします所々へ参り、ただ、「姫君のおはし所を*知らさせたまへ」とぞ祈りたまふ。また雪降りたるに、鞍馬へ参りて、下向したまへば、日ごろの雪に、埋れ蘆(あし)の絶え間に水鳥どものある中に、つがはぬ鴛鴦(をし)を見たまひて、かく(a)なん、

A　わがごとく物や悲しき池水につがはぬ鴛鴦のひとりのみゐて

かやうにながめたまへども、聞きとがむ(b)る人もなし。都の中には、①さるべき所々へ参りたまへども、しるしもなし。

いよいよ心空にあこがれ、宮仕ひもしたまはねば、父の大臣、「若き人の、いつとなく精進がちにおはするは、よからぬことなり。何ごとを嘆きて、かくありきたまふぞ」とのたまへば、うちかしこまりてゐたまへり。心の中には、人の行方なくなり果てなば、わが身世にもあるまじきものをと思ひつつ、涙洩れ出づれば、②さらぬやうにもてなして立ちたまひぬ。

また中納言殿は、姫君のこと忘るる時なく嘆きたまふ。*中の君、三の君も折節は嘆き、「あはれ、姫君の、何ごとにつけてもありがたくおはしましつるものを。いかなる所にかおはすらん」と泣きたまふを、北の方、「何ごとを忌ま忌ましく、さのみに泣きたまふぞ。③わが失せたらんには、なかなかさはあらじ」と腹立ちたまへば、親ながら情けなく、うたてくぞおぼしける。かの、姫君に婚(あ)はせんとありし宰相も、いとめでたくすぐれたる人を、いかでとおぼしけるに、失せたまへると聞き、口惜しきことかなと、嘆きたまひけり。

住吉には、冬籠るままに、いとど寂しさのみまさりて、松風荒らかに吹き、波の音もわが身にかかる心地して、水鳥どもの、(Ⅱ)釣殿に人にも恐れず、上毛の霜を打ち払ふ音、かたはらに聞こゆれば、御眠りうち覚めて、都のことつくづくとおぼしつづけ(c)られて、悲し(d)ければ、

B　水鳥の上毛の霜を打ち払ひ羽風にいとど(e)冴えやわたらん

とながめたまへば、御かたはらに臥したる侍従、あはれに聞くにつけても、「あはれ、少将殿の、夜な夜な嘆き明かしたまひしものを。④はべらざるよし聞きたまひて、いかに嘆きたまふらん」などと、心一つに思ひ出だしけり。さて、はかなく年も暮れぬ。

(注)

＊知らさせたまへ…原文の表記に基づく。文法的には「知らせさせたまへ」とあるべきところ。

＊中の君、三の君…北の方の実子で姫君の異腹の妹たち。

問一　傍線部(Ⅰ)、(Ⅱ)の読みを現代仮名遣いで答えなさい。

問二　二重傍線部(a)～(e)の説明として適当なものを、次のア～オの中からすべて選び、記号で答えなさい。

ア　(a)は、強意の係助詞　　イ　(b)は、完了の助動詞「り」の連体形

ウ　(c)は、自発の助動詞「らる」の未然形　　エ　(d)は、過去の助動詞「けり」の已然形

オ　(e)は、ヤ行下二段動詞「冴ゆ」の連用形

問三　A・Bの和歌の句切れについて該当するものを、次のア～オの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　初句切れ　　イ　二句切れ　　ウ　三句切れ　　エ　四句切れ　　オ　句切れなし

問四　傍線部①はどのようなところか、説明しなさい。

問五　傍線部②とあるが、ここには誰の、どのような心情が表れているか、説明しなさい。

問六　傍線部③、④について、傍線部③は「さ」の内容を明らかにし、傍線部④は主語を補い、それぞれ口語訳しなさい。

問七　次のア～カの中から、本文の内容に合致するものをすべて選び、記号で答えなさい。

ア　Aの歌は、少将が、眼前の鴛鴦に自らを重ね合わせて、孤独の悲しみを詠んだ歌である。

イ　大臣は、我が子が姫君のことが原因で、道心を固めるのではないかと心配している。

ウ　中の君と三の君は、姫君の身を案じる自分たちに腹を立てる北の方を嘆かわしく思っている。

エ　宰相は、少将と姫君の結婚を後押ししていたが、それが叶わなくなり残念な気持ちでいる。

オ　Bの歌は、姫君が霜を払う水鳥の羽音を聞き、災厄を恐れずに強く生きることを念じた歌である。

カ　侍従は、夜ごとに少将の元を訪れ、姫君を思い一緒に嘆き合ったことを思い出している。

問八　『住吉物語』は、鎌倉時代初期に成立した擬古物語である。次の中から、擬古物語を一つ選び、記号で答えなさい。

ア　宇治拾遺物語　　イ　大和物語　　ウ　保元物語　　エ　松浦宮物語　　オ　宇津保物語

【三】次の文章を読んで、各問いに答えなさい。
なお、設問の都合で送り仮名を省いたところ、文字を改めたところがある。

馬援兄子嚴・敦、竝喜議議、而通輕俠客。援在交趾、還書誡之曰、吾欲汝曹聞人過失、如聞父母之名、耳可得聞、口不可得言也。好議論人長短、妄是非正法、此吾所大惡也。寧死不願聞子孫有此行也。

①

②

③

龍伯高敦厚周愼、口無擇言、謙約節儉、廉公有威。吾愛之重之。願汝曹效之。

④

杜季良豪俠好義、憂人之憂、樂人之樂、清濁無所失。父喪致客、數郡畢至。吾愛之重之、不願汝曹效也。

⑤

效伯高不得、猶爲謹敕之士。所謂刻鵠不成、尚類鶩者也。效季良不得、陷爲天下輕薄子。所謂畫虎不成、反類狗者也。

⑥

⑦

（『小学』による）

（注）
＊交趾…地方の名。　＊還書…甥の嚴と敦からの来書に対する返事を出した。
＊汝曹…おまえたち。　＊父母之名…埋葬後は亡父母の名を口にしなかった。
＊正法…現行の法。　＊周愼…何事も慎重にする。　＊擇言…よくない言葉。
＊謙約…謙は謙遜、約は行動が放縦でないこと。
＊無所失…だれとでもよく交友関係を保った。　＊鵠…白鳥。　＊鶩…あひる。

問一　二重傍線部A～Cの読みを、送り仮名も含めて現代仮名遣いで答えなさい。
問二　傍線部①を書き下し文に改めなさい。
問三　傍線部②について、
（一）「此行」を具体的に示した部分を本文中から一二字で抜き出し、答えなさい。
（句読点を含む。）
（二）（一）の内容を含めて、全体を口語訳しなさい。
問四　傍線部③、④の人物を見立てた動物をそれぞれ本文中から抜き出し、答えなさい。
問五　傍線部⑤のように述べているのはなぜか、龍伯高と杜季良の二人の人柄に着目して、六〇字以内で説明しなさい。
問六　傍線部⑥、⑦について、鵠を彫ることと虎を描くことについて、それぞれどのように述べているか、七〇字以内で説明しなさい。

【一】

検査Ⅴ　国語　解答例

問一　各2点　問二　各2点　問三　各2点　問四　10点　問五　12点
問六　12点　問七　完答4点　計60点。

記号	国
番号	

問一
① えいち
② 対照
③ 批判
④ 一向
⑤ ゆだ

問二
ア　B
イ　A
ウ　A

問三
a　人々の生活
b　複雑
c　合理的な計画

問四
ラディカリズムは、既存の政策にとらわれずに、ゼロベースで政策のあらゆる可能性を検討するのに対して、インクリメンタリズムは、既存の政策をベースに、その改善を図る点で反対の極に位置づけられるということ。

問五
新しい政策を決定する際、既存の政策をベースにするインクリメンタリズムは、可能性の検討や利害関係の調整が限定的で、改善は手っ取り早く繰り返し行うことも容易であり、結果的に現実社会を大きく変え得るから。

問六
白紙の状態から理想的な政策を検討するラディカルなアプローチは、時間と労力の都合上、あらゆる可能性の検討や無数の利害調整を放棄し、強引に政策を決定せざるを得なくなり、独裁的な権力を生み出す上に、大失敗に終わってしまうこと。

問七
ア・イ・エ

記号	国	番号

検査Ⅴ　国語　解答例

【二】　問一　1点×2＝2点　問二　完答4点　問三　完答2点　問四　3点
問五　5点　問六　4点×2＝8点　問七　完答4点　問八　2点　計30点

問一	Ⅰ	しょうじん
	Ⅱ	つりどの
問二	ア・オ	
問三	A	イ
	B	オ
問四	姫君の居場所を知りたいという少将の願いをかなえてくれそうな評判の高い寺や神社。	
問五	姫君の行方が全く分からなければ、自分もこの世に生きてはいまいと思うほど思いつめ涙がこぼれるのを、父の大臣に気づかれたくないという少将の心情。	
問六	③	私がいなくなったとしたらその時には、とうてい姫君のことを嘆くほどには私のことを思って悲しんで泣いてはくれまい。
	④	少将様は姫君がお控えしていないことをお聞きになり、今頃どんなにかお嘆きになっているであろう。
問七	ア・ウ	
問八	エ	

【三】　問一　各2点×3＝6点　問二　完答4点　問三　（一）2点　（二）4点
問四　各2点×2＝4点　問五　6点　問六4　点　計30点

問一	A	にくむ
	B	ことごとく
	C	いわゆる
問二	吾汝が曹の人の過失を聞くこと、父母の名を聞くがごとく、耳には聞くことを得べきも、口には言ふを得べからざらんことを欲す。	
問三	（一）	好議論人長短、妄是非正法
	（二）	子孫に人の長所や短所を議論することを好み、軽々に現行の法について是非を口にするような行いがあると聞くくらいなら、いっそ死ぬ方がよい。
問四	③	鵠
	④	虎
問五	欠点のない龍伯高に対し、清濁の区別なく誰とでも交際した杜季良には心配な面もあり、それを真似て軽薄な者になりかねないから。	
問六	鵠を彫るのに失敗しても、鵠に似通った鶩に似たものになるが、虎を描くのに失敗すると虎に似ても似つかない狗に似たものになってしまう。	